

(1) 経過及びスケジュールについて

年月日	内容
令和4年	
8月1日	第1回上曾トンネル開通に伴う地域活性化委員会
10月29日	第1回上曾トンネル周辺地域活性化ワークショップ
10月26～28日、11月14日	上曾トンネル開通に伴う地域活性化委員ヒアリング
11月19日	第2回上曾トンネル周辺地域活性化ワークショップ
11月28日	第2回上曾トンネル開通に伴う地域活性化委員会
12月3日	第3回ワークショップ
12月16日～12月23日	中学生アンケートの実施
令和5年	
1月30日	第3回上曾トンネル開通に伴う地域活性化委員会 上曾トンネル周辺地域活性化基本構想（案）について
2月13日～3月14日	パブリックコメントの実施
3月中旬	第4回上曾トンネル開通に伴う地域活性化委員会 上曾トンネル周辺地域活性化基本構想（案）について

・第3回ワークショップ結果について
 参加者15名（3グループに分かれて作業）
 地域の目指す将来像について（マップへの落とし込み含む）

・中学生アンケートについて
 桜川中学校、桃山学園の中学生対象 332名
 回答者 161名

○グループ A

<アイデア①>

将来像 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史を体感できる場所 ● 文化財の観覧ができ、そして楽しんでもらえる
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊学習や研修のパックを提供する ● 神社等の催事に参加できる ● 古民家に宿泊 ● 藍染め体験ができる
ワクワクする人	<ul style="list-style-type: none"> ● 街並み案内ボランティア ● 先生・教育関係者（動物社会科学習の場として） ● 子ども

<アイデア②>

将来像 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族で立ち寄れる場所・地域 ● 家族連れで楽しめる地域 ● 家族・子ども・動物と一緒に楽しめる施設
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 小さい子ども遊べる場所 ● ペット同伴で遊べる場所 ● ドッグカフェ・ドッグラン
ワクワクする人	<ul style="list-style-type: none"> ● 犬を飼っている人 ● 動物好きな人

<アイデア③>

将来像 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ● 集まれる場所 ● 観光客の楽しめる場所 ● みんなが集まれる楽しい場所
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 人と人が出会い交流する ● 案内所の充実
ワクワクする人	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街の人 ● 住民

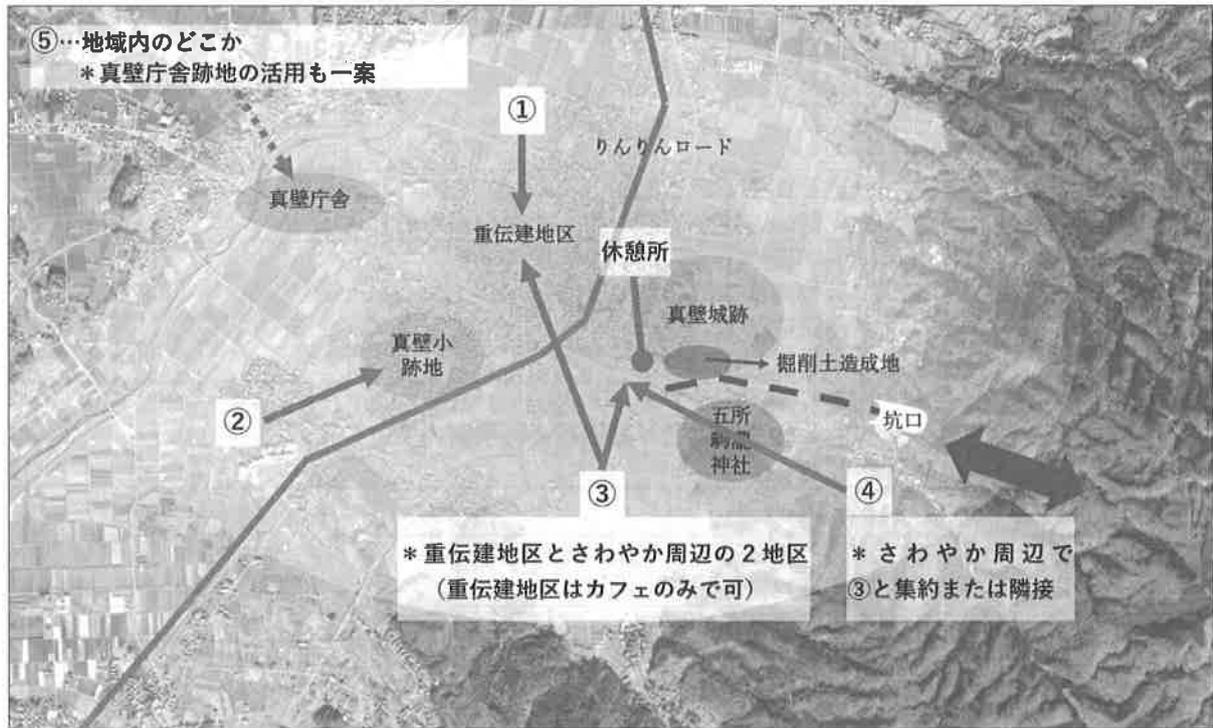
<アイデア④>

将来像 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事・喫茶・休める場所
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 商品開発、新たなご当地グルメ ● 食べられる/遊べる フードコート
ワクワクする人	<ul style="list-style-type: none"> ● グルメな人 ● 飲食店

<アイデア⑤>

将来像 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ● みんなのふるさと ● また来たくなる地域
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 真壁でしかできないアクティビティ ● 観光・まちの総合案内 ● 飲食店や観光地をつなぐプラットフォーム
ワクワクする人	<ul style="list-style-type: none"> ● 出身者 ● 飲食店 ● 地場産業

<想定される実施エリア>



○グループ B

<アイデア①>

将来像 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ● ゆるいつながり ● 誰でも要望を言えるまち ● 何かあった時に助け合える
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● おもてなしの文化、おふくわけの文化 ● 色々な人がまざりあう場 ● まちのランドデザインをみんなで考えられる場（今回のワークショップのような） ● まちの誇りを知る仕組み ● 重伝建の歴史を知れる仕組み ● 新しいテクノロジー、デジタル目安箱 ● 真壁を楽しむための提案をできる仕組み（アナログ、デジタル）
ワクワクする人	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しく住んだ人 ● 新しい人に会いたい人 ● 地元のことを知らない地元の人 ● 地元のことを友人に紹介したい人

<アイデア②>

将来像 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ● ベットタウン、観光目的で立ち寄れるところ（住みやすい）
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通インフラ ● まちの誇りを知る仕組み ● 色々な人がまざりあう場 ● 貴重だけど使われないもったいない建築の活用
ワクワクする人	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しく住んだ人 ● 重伝建に住みたい人

<アイデア③>

将来像 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ● 一人でも家族でもどんな人にも優しく楽しく暮らせるまち ● 一人でも楽しめる（観光・暮らし両方） ● まちの中で生活が完結する ● 高齢化して運転できなくても住める町 ● 将来もこの町で生活したいと思える ● まちの中で生活が完結する
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● お店（飲食、衣食住） ● 無人でも安心してまちを回れる仕組み ● 見守りサービス、買い物サービス ● まちのユビキタス化（医療など） ● 健康保全
ワクワクする人	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者 ● サービスを提供する人 ● 働ける障がい者 ● （一人で過ごす若者）

<アイデア④>

将来像 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ● 温故知新、古いところと新しいものがまざりあう ● 若者がぶらっと来て回れる ● また来たい、来てよかったと思われる地域
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 魅力が伝わる仕組み

	<ul style="list-style-type: none"> ● 重伝建の歴史を知れる仕組み ● 歴史巡り ● 真壁城跡地、VR 体験 ● 江戸の生活体験 ● 重伝建来訪者が利用できる宿泊施設 ● 宿泊施設（キャンプ場、ドックラン）⇒真壁小学校の跡地を有効活用 ● 交通インフラ、レジャー ● サイクルステーション（高上町駐車場） ● 電気自動車の充電施設（駐車場）
ワクワクする人	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客 ● ぷらっとくる若者 ● 歴史付きの旅行者 ● 働ける障がい者

<想定される実施エリア>



○グループC

将来像	必要な機能	ワクワクする人	エリア想定
地元の若者が住み続けたいくなる	楽しいコミュニティ SNS/インターネットのできる場所 他地域の若者も集まってくる いつも新しい流行が生まれる	女子高生・男子高生 Youtuber テレビ（いば6）	真壁小跡地
新しい資本主義を実験する先進的田舎 安全でゆとりのある生活・居住地 居心地の良い暮らし 安価な暮らし	農業手伝い・クラインガルデン 労働力の提供⇔現物支給 移動手段の相互提供 地域通貨…「円」でなく地域内で流通	地元のすべての人（老若男女） 周りの田舎 都会人（移住希望者） 行政・政治	農地
地元の人が住みやすく、観光客がリピートしたいと思う場所	体験ができる	子供 若者 地域おこしをしている人	真壁小跡地
家族で行ってみたい、何かを体験できる。共に遊べる場所	気軽に立ち寄れる（情報提供） 遊具がある 犬なども一緒に遊べる 歴史体験（伝統工芸） 歴史宿泊 交流フォトコン	市役所等のアドバイスをしてくれる人 観光案内⇒移住案内	真壁小跡地 伊勢屋
町の伝統や工芸を体験し、新たに農業など新たに育てる	継承してくれる人をそこから仕事にできる仕組み 伝統的工芸品、芸能を見せる	とにかく前向きで明るい人 何事もいい方向に考えられる 人の気持ち考えをデザインできる	重伝建地区 真壁小跡地
都会人のための田舎	田舎の風景。古民家 田舎でないとできない体験 滞在型施設	都会人をもてなすことに喜びを持つ地元住民 経済的なメリットのある地元住民 （疲れた都会人、他の田舎に真壁を自慢したい都会人）	真壁城跡 五所駒瀧神社
自分の住む場所の歴史に興味を持てる	歴史を教えてくれる、知ることができる場所	地域に住んでいる方々	重伝建地区
地域の人が地元の魅力を発見。発信できる	フォトコンテスト	地元自慢をしたいと思っている人 写真（カメラでもスマホでも）を撮るのが好きな人	真壁城跡 五所駒瀧神社
地元住民と観光客が交流できる（ふれあえる）	伝建地区に宿泊体験イベント	おもてなしをしたいと思っている人	重伝建地区 （伊勢屋旅館）
また訪れてゆったり・の	古民家・空き家の活用	お話の好きな人	重伝建地区

んびりした時を過ごせると思ってもらえる		地域の方 交流（したい人）	
まるごと真壁！案内所	ひらめきが生まれる（物・体験・住む）案内所 どんどん増やしていく ※記入者注：ハコモノとしての案内所ではなく、分散型の真壁体験ラボのような機能という解釈です	アピールを楽しくできる人	特定のエリア指定なし
特産物を活用した体験ができる	ふくれみかんや真壁高校農産物を加工・体験できる	子供たち 真壁高校生 農家の方 直売所の方	重伝建地区 真壁小跡地

上曽トンネル周辺地域 中学生アンケート調査 結果概要

■調査概要

対象：桜川市立桃山学園・桜川市立桜川中学校 中学1年生から中学生3年生

方法：WEB 回答フォームの URL を生徒に周知

設問：真壁や上曽トンネル周辺地域に関する設問全 10 問

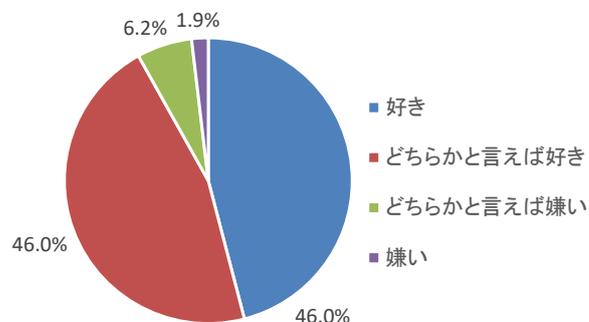
回答数：161

■結果概要

問3 あなたは真壁が好きですか？

- 回答者の約5割が「真壁が好き」と回答しており、その割合は年齢が若いほど高くなっており、男性でその割合が高くなっています。
- 「真壁が好き」と回答した理由として、自然が豊かな点や伝統的な街並みやお祭り等の歴史や文化があることを理由に挙げる回答が多くなっています。

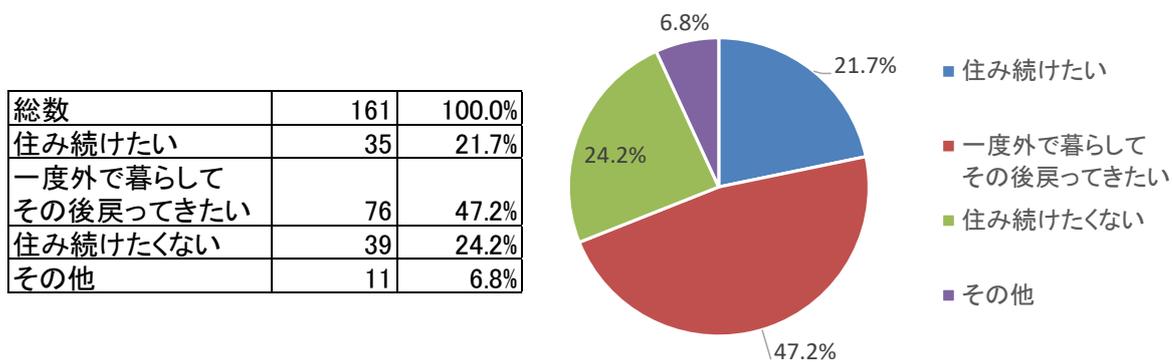
総数	161	100.0%
好き	74	46.0%
どちらかと言えば好き	74	46.0%
どちらかと言えば嫌い	10	6.2%
嫌い	3	1.9%



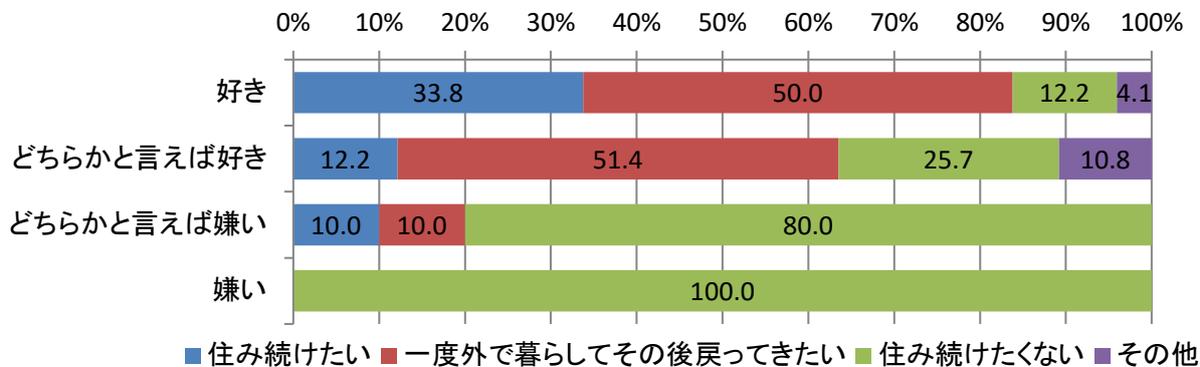
「真壁が好き」と回答した理由 抜粋	「どちらかと言えば嫌い」「嫌い」と回答した理由 抜粋
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自然が豊かだから ✓ いろんな文化が楽しめるから ✓ 古い町並みがあるから ✓ 歴史のある町並みで田んぼが綺麗 ✓ お祭りなどがあるから ✓ ずっと住んでいるから ✓ 住みやすくみんな優しいから ✓ 昔っばい町がいっぱいあるから 等 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 発展していないから ✓ つまらない ✓ 田舎すぎる ✓ 何もないから 等

問5 あなたは今後真壁に住み続けたいと思いますか。

- 今後の真壁への定住意向について、「一度外で暮らして戻ってきたい」と約 5 割が回答しており最も多くなっている。「真壁が好き」と回答した人ほど「住み続けたい」との回答は多くなっているが、「一度外で暮らして戻ってきたい」も約 5 割が選択しています。
- 「住み続けたい」との回答の理由としては真壁への愛着や自然や歴史文化を理由に挙げている人が多く、「一度外で暮らして戻ってきたい」との回答では、都会等一度は外に出てみたいとの意見が多く、いずれは戻ってきたいという理由も多い。
- 「その他」の回答では“わからない”や“悩んでいる”との回答が挙がっています。



【クロス集計:真壁への愛着別の回答】



「住み続けたい」と回答した理由 抜粋	「一度外で暮らして戻ってきたい」と回答した理由 抜粋
<ul style="list-style-type: none"> ✓ お店を継ぎたい ✓ ずっと住んできたから ✓ 空気が美味しく、落ち着けるから ✓ 自然がいいから ✓ 好きだから ✓ 真壁に生まれたことを誇りに思っており、真壁が好きだから ✓ 歴史を残したい 等 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他のところにも行きたいから ✓ 都会に行ってみみたい ✓ 一度違うところに行ってそこで吸収したものを桜川で生かすため ✓ 他のところにも住んで挑戦してみたいから ✓ 真壁以外の町の良さも知りたいから ✓ 歳を取ったら真壁の自然の中で暮らしたいから ✓ 1 回故郷を離れるということも大切だと思うから 等

問7 大事にしたい良いところ、未来に残したい良いところなど、あなたの地域の“押し”（他の人に勧めたいモノ、コト（体験・経験）、人など）とその理由を教えてください。

- 歴史的な真壁の町並みや伝統的な祭りや真壁伝承館、自然豊かな環境やりんりんロードや真壁のひなまつりといった意見が多く上がっています。

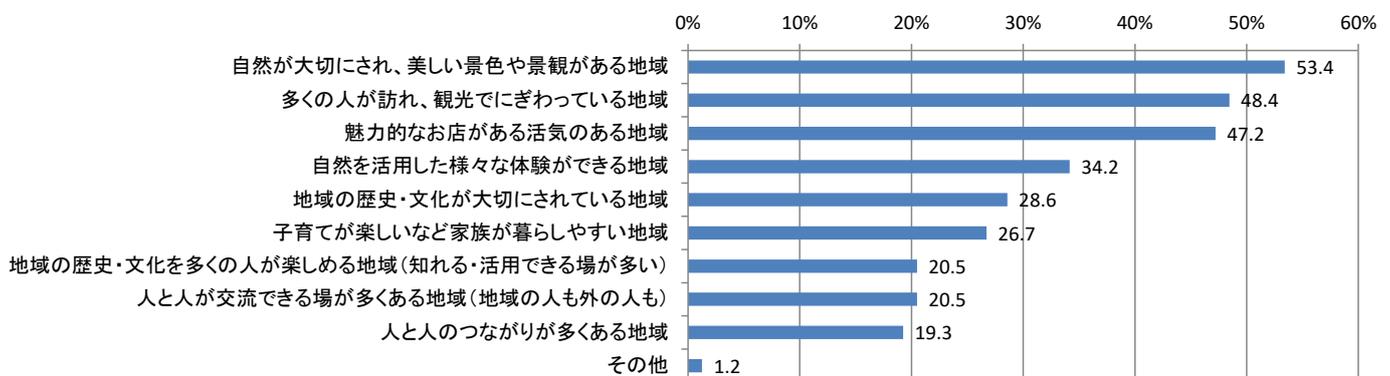
問8 上曽トンネル周辺地域にあなたが必要だと思う場所やもの、コト（体験・経験）をおしえてください。

- 公園や飲食店が必要との意見が多く上がっていた。その他に宿泊施設や商業施設、みんなで集まれる場所等の意見が挙がっています。

問9 上曽トンネル周辺地域について、今後どのような地域になってほしいですか。

- 上曽トンネル周辺地域の今後について、「自然が大切にされ、美しい景色や景観がある地域」を選択する人が最も多く全体の約 5 割が選択。「多くの人が訪れ、観光でにぎわっている地域」、「魅力的なお店がある活気のある地域」が続いています。
- 地域への愛着別や定住意向別でも上位項目に大きな変化はないが、「住み続けたくない」と回答した人は魅力的な店舗や子育て環境の向上を望む意見が多くなっています。
- 「その他」の回答では発展して便利な地域等の回答が挙がっています。

総数	161	100.0%
自然が大切にされ、美しい景色や景観がある地域	86	53.4%
多くの人が訪れ、観光でにぎわっている地域	78	48.4%
魅力的なお店がある活気のある地域	76	47.2%
自然を活用した様々な体験ができる地域	55	34.2%
地域の歴史・文化が大切にされている地域	46	28.6%
子育てが楽しいなど家族が暮らしやすい地域	43	26.7%
地域の歴史・文化を多くの人が楽しめる地域(知れる・活用できる場が多い)	33	20.5%
人と人が交流できる場が多くある地域(地域の人も外の人も)	33	20.5%
人と人のつながりが多くある地域	31	19.3%
その他	2	1.2%



【クロス集計：真壁への愛着・定住意向別の上位回答】

	「真壁が好き」と回答した人	「真壁に住み続けたい」と回答した人	「真壁に住み続けたくない」と回答した人
1位	自然が大切にされ、美しい景色や景観がある地域 [55.4%]	多くの人を訪れ、観光でにぎわっている地域 [60.0%]	魅力的なお店がある活気のある地域 [64.1%]
2位	多くの人を訪れ、観光でにぎわっている地域 [54.1%]	自然が大切にされ、美しい景色や景観がある地域 [45.7%]	多くの人を訪れ、観光でにぎわっている地域 [51.3%]
3位	自然を活用した様々な体験ができる地域 [39.2%]	魅力的なお店がある活気のある地域 [42.9%]	自然が大切にされ、美しい景色や景観がある地域 [46.2%]
4位	魅力的なお店がある活気のある地域 [37.8%]	自然を活用した様々な体験ができる地域 [40.0%]	子育てが楽しいなど家族が暮らしやすい地域 [38.5%]
5位	地域の歴史・文化が大切にされている地域 [29.7%]	地域の歴史・文化が大切にされている地域 [28.6%]	地域の歴史・文化が大切にされている地域 [30.8%]

問 10 上曾トンネル周辺地域であなた自身がこれからやりたいこと、関わりたいこと、将来的にはどんな暮らし方をしたいかなど、自由に考えやアイデアを書いてください。

➤ 以下に一部意見を抜粋して記載します。

- ✓ 伝統的工芸品づくりなどの歴史を身近に体験できるようにしたい。
- ✓ 大人になっても、ひなまつりや夏祭りに行きたい
- ✓ 昔のことにもっと触れたい
- ✓ 真壁の町並みを守っていききたい
- ✓ もし真壁が子育てしやすいまちになっていれば、結婚後も真壁で生活したい
- ✓ たくさんの人が訪れる町にしたい
- ✓ ボランティアなどをして自然を壊さない活動をする
- ✓ 自然あふれている地域にしたい
- ✓ 観光客がたくさん来てにぎわっている暮らし
- ✓ 祇園祭などの行事に取り組みたい
- ✓ 子供が自由に遊べる場所を作りたいし楽に楽しめる所にしたい

等

桜川市上曾トンネル開通に伴う地域活性化委員会設置要綱

令和4年6月8日
桜川市告示第86号

(設置)

第1条 上曾トンネルの開通に伴い、周辺地域の魅力を高め、広く発信することにより、地域の活性化を図るため、上曾トンネル開通に伴う地域活性化委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を掌握する。

- (1) 上曾トンネル開通に伴う地域活性化のための基本構想及び各計画策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、15人以内の委員で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから桜川市（以下「市」という。）が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 市議会議員
- (3) 各種団体の役員等
- (4) 市職員
- (5) その他市が必要と認める者

3 委員の任期は、委嘱を受けた日から基本構想及び各計画策定に係る審議が終了する日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 議事は、出席委員の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員会は、災害等やむを得ない事情があるときは、書面、オンライン会議等、その他の手段をもって代えることができる。

(意見の聴取)

第6条 委員長は、必要があると認めるときに関係者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、企画課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、公布の日から施行する。

(委員召集の特例)

2 この告示の施行の日以後最初に招集される委員会の会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

(この告示の失効)

3 この告示は、第2条に規定する所掌事務が終了した日をもって、その効力を失う。

上曾トンネル開通に伴う地域活性化委員会委員名簿

【委員】

		職 名	氏 名	役職
1	識見を有する者	筑波大学システム情報系教授	藤川 昌樹	委員長
2	市議会議員	市議会議員	小林 正紀	
3	各種団体の役員等	千年の森の会 代表	櫻井 崇	
4		ディスカバーまかべ 副会長	田中 宣寛	
5		まかべ日和の会 代表	田中 良枝	
6		桜川市区長会真壁支部 会長	常盤 恵一	副委員長
7		桜川本物づくり委員会 代表	西岡 勇一郎	
8		桜川市観光協会 会長	橋本 慶晴	
9		真壁石材協同組合 理事長	林 清	
10		桜川市商工会 会長	皆川 光吉	
11		真壁のひなまつり実行委員会 委員長	村上 宏	
12		まかべ♡街灯りプロジェクト 代表	村上 頼子	
13	市職員	桜川市 副市長	小林 達徳	